

一般会計予算に対する討論(要旨)

10xの立場に立った市政運営を

賛成 フォーラム小平

「下水道事業特別会計」
 予算総額は、59億7千8百30万円で、前年度に比べ2億2千5百60万円の減です。
 (歳入) 下水道使用料は、世帯数はふえているものの大口・中口使用者の汚水排水量が減少しており前年度と比べ2.4%の減を見込みました。
 (歳出) 雨水及び汚水の整備事業を計画するとともに、公共下水道施設の維持管理費、市債に対する償還金である公債費などを計上しました。

「受託水道事業特別会計」

予算総額は、19億3千4百万円で、前年度に比べ2億6千7百万円の増です。
 (歳入) 東京都からの委託金が89.4%を占め、そのほか下水道使用料徴収事務委託金です。
 (歳出) 道路工事に伴う配水管布設がえ、無ラインング管取りかえ工事等を施工します。
 なお、本年度の給水人口は18万3千人を予定しています。

自立できる体質への転換を進める姿勢を評価

賛成 政和会

各種事業を積極的に盛り込み、前年度と比較して、5%増額の積増型予算としたことは大いに評価する。大きな特徴として、歳入では、根幹をなす市税が固定資産税の評価がえの影響もあり、2年続けての減少となり、臨時財政対策債は前年度の2.2倍を計上した。さらに、建設事業に充当する市債についても、小平市の将来を積極的に展開するため、前年度比94%の増となった。歳出では、限られた財源をより重点的に配分するた



旧小川東小学校施設をリニューアル(市民活動支援センター準備室、子ども家庭支援センター等を設置)

め、徹底した事務事業の見直しを行い、生活保護費の増や児童扶養手当給付の平年度化、障害者福祉の分野に支援費制度が新しく導入されることなどで扶助費が10.3%ふえたこと、また活力をばくむまづくりを現すために、市民生活に直結する事業に留意したこと。さらに、これらの施策を実現するために、約3億8千万円の経常経費の削減を図ったことなど、自立できる体質への転換を求めて進んでいることを評価する。

市民生活の実状を見据え市民の願いにこたえよ

反対 日本共産党市議会

反対理由の第1は、市民生活の実状を見据え、市民の暮らし・福祉・社会保障充実などの市民の願いに積極的にこたえたものとなっていないこと。乳幼児医療費無料化の所得制限撤廃では、対象の拡充を求める。また、介護保険料の据え置き、就学援助の対象者拡大、保育料軽減策なども積極的に進んでいくべきである。第2は、市政の主人公である市民の市政への参画、情報公開の推進に配慮していないこと。第3は、行革の名で職員削減が進み、必要な部署に適切な職員配置がされず、臨時職員を安上がりに使うなど、市民との協働に相応していないことである。第4は、厳しい市財政の実態と原因を市民に示し、その打開に努め、市民の要求にこたえ

市は市政運営に対し、市民協働の意識が希薄

反対 緑・生活者ネット

反対の大きな理由は、小平市の市政運営が、市民参加、市民との協働という点で考え方に相違があることである。例えば措置から契約へという福祉の構造改革は、従来の行政が決定する福祉サービスから、各個人の自己決定権が保障されるという点で評価すべきものであるが、そこでの自治体の役割は、個人の自己決定が尊重されるような多様なサービスのための基盤整備を図り、第三者評価による質の向上と選択権を保障し、権利侵害のないよう権利擁護の体制を整えることであると考えられる。



福祉の拠点、小平市健康福祉事務センター

また、市民参加の手続についても、旧小川東小学校の施設利用に関するワークショップを検証しつつ、各センター機能の立ち上げに当たっては、より一層の市民の意見反映と運営への参加を求める。

第5は、市教育委員会の対応に市民から批判があった。第3は、行革の名で職員削減が進み、必要な部署に適切な職員配置がされず、臨時職員を安上がりに使うなど、市民との協働に相応していないことである。第4は、厳しい市財政の実態と原因を市民に示し、その打開に努め、市民の要求にこたえ

議会日誌

(本会議、委員会、諸会議など)

1月

- 14日 議会報編集委員会
- 17日 小平・村山・大和衛生組合議会臨時会
- 23日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 27日 東京都公平委員会関係団体協議会
- 29日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会

2月

- 6日 全員協議会
市議会議員研修会
- 7日 総務委員会
- 10日 生活文教委員会
- 12日 厚生委員会
- 13日 東京都十一市競輪事業組合議会
東京都四市競艇事業組合議会
東京都市議会議員研修会
- 14日 建設委員会
- 17日 幹事長会議
- 18日 昭和病院組合議会

3月

- 3日 一般会計予算特別委員会(5日まで)
- 6日 特別会計予算特別委員会
- 11日 総務委員会
- 12日 生活文教委員会
- 13日 厚生委員会
- 14日 建設委員会
- 18日 幹事長会議
- 19日 議会運営委員会
- 25日 3月定例会本会議最終日
全員協議会
議会報編集委員会
- 31日 東京都四市競艇事業組合議会臨時会